

(別添資料①)

- まとめ) ○ 市役所原案では財政問題は解決しない。借金繰り延べなどは急場のぎである。
 ○ 職員給与是正だけで当面の問題は全てクリアする。(根拠を下に記す)

5年間の欠損予想(市役所作成)

勸奨による6人退職金(1億5000万円)含む

表1 単位:千円

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	累計
欠損予想	▲ 880,000	▲ 935,415	▲ 988,232	▲ 975,841	▲ 1,011,520	▲ 4,791,008

※欠損予想=収支不足見込額

第2回留萌市財政再建推進委員会 資料1より

表2

歳入増収策	10,059	23,058	38,346	54,394	65,813	191,670
-------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

※歳入増収=市税、税外未納分回収目標額
(保育料見直し含まず)

第2回留萌市財政再建推進委員会 資料2より

表3

収支不足	▲ 869,941	▲ 912,357	▲ 949,886	▲ 921,447	▲ 945,707	▲ 4,599,338
------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-------------

※収支不足=欠損予想(表1)+歳入増収(表2)

未納回収が進んでも46億円の収支不足

収入不足(赤字)が
20億円を越え、
財政再建団体へ転落

市役所原案

(市役所案)

- 保育料基準額の見直し (保育料の増額)
- 職員給与費削減 (給料7%削減、期末手当0.2カ月削減等。ただし17年度だけ)
- 衛生センター使用料の見直し (住民負担)
- し尿処理手数料の差別化・見直し (住民負担)
- 神居岩スキー場廃止 (住民サービス廃止)

いづれにしても
20億円を越える

全て実行しても

表4

案実施後の 収支不足	▲ 869,941	▲ 654,173	▲ 689,197	▲ 577,284	▲ 594,028	▲ 3,384,623
---------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-------------

(財政再建推進委員会での協議抜粋 ○委員 ●市)

- 計画通りに行ったとしても、2~3年で20億円を超える赤字になる。
- 結局、今まで事業をし過ぎたため借金返済額が増えたことによる(他都市より10億円多い)。
- 4億7000万円の未収金など民間企業では考えられない。責任の所在もはっきりしない。12年度も同額の回収目標を立てていたが成果は上がっていない。今回も同じだ。
- 今年度から管理職も総動員で回収に当たる。
- 赤字再建団体になったときのシュミレーションはしているか。
- シュミレーションはしていないが、「(市民から)最高の負担で最低のサービス」が基本となる。
- 職員給与が地域民間企業に比べ高すぎる。
- 地域民間企業の参考になる給料データがないので検討が困難。
- 赤字再建団体に転落しない方法はあるのか。
- 10億円の借金を先送り(平準化)することで収支を均衡化させる
- 延命策に過ぎず、抜本的解決にはならない。

・原案では解決にならない
・将来への問題先送りである